

講習会

「鋼構造物の座屈に関する諸問題2013」

主催 日本建築学会 構造委員会 鋼構造運営委員会

後援 (予定) 開催地都県建築士会、開催地都県建築士事務所協会、日本建設業連合会、日本建築家協会、日本建築構造技術者協会、日本建築士会連合会、日本建築士事務所協会連合会、日本建築センター

主旨 座屈現象に関する知識・理解は鋼構造の設計を行ううえで必須であるが、正しく応用することは必ずしも容易ではない。本講習会では、座屈拘束ブレースの接合部設計、床スラブによる横座屈補剛、平鋼部材の許容曲げ応力度評価、せいの高い梁のウェブ幅厚比の緩和、柱の有効細長比の評価方法等、日常の構造設計で直面する様々な座屈に関する諸問題に対し、最新の知見を具体的な設計例とともに解説する。

特に近年、部材レベルの弾塑性挙動や座屈を考慮した時刻歴応答解析が汎用的に利用されるようになり、想定を超える地震動や暴風下で繰り返し外力を受ける座屈部材の挙動解明やその性能評価が多く求められるようになってきている。また、構造デザインの自由度が増したことにより、従来顕在化しなかった架構の安定問題が設計上問題となる局面も増えている。

本講習会では、これらの諸問題に対する最新の研究成果に基づいた整理・公表を行い、今後の実務設計への適用、検証を通

じての意見集約を行い、『鋼構造座屈設計指針』次期改定に向けた準備とする。建築構造の設計・施工・研究に携わってられる方々、建築構造を学ぶ学生諸君はふるって参加されたい。

参加費 (テキスト代含む)

1. 日本建築学会会員 8,000 円
2. 後援団体会員 10,000 円
3. 上記以外 13,000 円

テキスト

『鋼構造物の座屈に関する諸問題2013』、A4判、約200頁

申込方法* 下記いずれかの方法でお申し込みください。お電話での申込みは受け付けておりません。

①**参加申込書(郵送)による申込み** 参加費をお支払いのうえ、必要事項を明記した**2頁目の参加申込書** (←クリックしていただいても書式が出ます) と参加券送付用封筒 (80円切手貼付、宛名記入) を同封し、お申し込みください。

②~~WEBからの申込み~~ ~~日本建築学会ホームページ「催し物・公募」からお申し込みください (参加申込書と参加券送付用封筒の郵送は不要)。~~ <http://www.aij.or.jp/>

開催地・期日・会場・定員・申込方法・申込先・参加費支払い方法

開催地	期日	会場	定員	申込方法*	申込先	参加費支払い方法
東京	2013年 6月11日(火)	東京会場は定員に達したため受付を終了しました				
名古屋	7月5日(金)	昭和ビル 9階ホール (名古屋市中区栄4-3-26)	150名	①	日本建築学会 東海支部 講習会「鋼構造の座屈諸問題2013」係 〒460-0008 名古屋市中区栄 4-3-26 昭和ビル5階 TEL 052-243-6244	○銀行振込 ・三菱東京UFJ銀行栄町支店 普通預金口座 0301491 シヤ)ニホンケンチクガツカイトウカイシブ

プログラム

開催地	期日	時間	10:00~10:50	10:50~11:50	休憩	13:00~13:50	13:50~14:40	休憩	14:50~16:10	16:10~16:50
		内容	主旨説明/ 座屈を考慮した ブレースの設計	横座屈する梁の Ds値評価と床ス ラブ補剛効果		圧縮曲げを受け る各種柱の 座屈荷重評価	大梁のウェブ 幅厚比制限・ 薄板要素の設計		骨組中の柱の 座屈長評価と 安定性の判定	ラチスシェル屋根 の座屈耐力評価
東京	6月11日(火)	満員御礼	竹内 徹 (東京工業大学)	井戸田秀樹 (名古屋工業大学)		津田恵吾 (北九州市立大学)	五十嵐規矩夫 (東京工業大学)		多田元英 (大阪大学) 田川 浩 (広島大学)	藤本益美 (大阪市立大学)
名古屋	7月5日(金)		竹内 徹 (前掲)	井戸田秀樹 (前掲)		津田恵吾 (前掲)	井戸田秀樹 (前掲)		多田元英 (前掲)	竹内 徹 (前掲)

※司会は、東京会場：宇佐美徹 (竹中工務店)・小崎均 (日建ハウジングシステム)、名古屋会場：佐藤篤司 (名古屋工業大学) です。

※講師は都合により変更することがあります。

講習会参加申込書

講習会名・会場	講習会 「鋼構造物の座屈に関する諸問題2013」 (会場)			
参加者*1	フリガナ		会員番号	
	氏名			
会員区分*3	<input type="checkbox"/> 日本建築学会会員 (個人会員/法人会員・賛助会員*2) <input type="checkbox"/> 後援団体会員 (団体名・No. 等) <input type="checkbox"/> 上記以外			
勤務先名		所属部署		
所在地	〒			
電話		FAX		
E-mail				
参加費	円 (支払方法は、会場によって異なりますのでご注意ください)			
支払方法・ 申込方法*3*4	<input type="checkbox"/> 銀行振込： 指定口座に入金のうえ、申込書 (振込銀行欄記入または振込明細書コピー貼付) と参加券送付用封筒 (80円切手貼付、宛名記入) を同封し、お申し込みください。折り返し、参加券と領収書をお送りします。			
	<input type="checkbox"/> 現金書留： 本申込書と参加券送付用封筒 (80円切手貼付、宛名記入) を同封し、参加費を添えてお申し込みください。折り返し、参加券と領収書をお送りします。			
振込元銀行 (右欄記入の代わりに、振込明細書コピーを貼付いただいても結構です)	銀行名・支店名	銀行	支店	
	ご依頼者(社)名			
	振込日	年	月	日
	振込金額	円 (他と合算送金の場合は、通信欄へ内訳をご記入ください)		
関連催し物のご案内	<input type="checkbox"/> 今後、関連する講習会等催し物の案内を希望しない。 (今後、関連する講習会等催し物のご案内をお送りします。希望されない方は、□に✓を記入してください)			

*1: 同一組織での複数名によるお申し込みの際は、参加者全員の①氏名 (フリガナ)、②会員番号、③会員区分を通信欄にご記入いただければ、申込書は1枚で結構です。

*2: 法人会員・賛助会員は、1口につき5名を会員扱いとします。

*3: 該当区分の□に✓を記入してください。

*4: 参加費の払い戻しはいたしません。なお、振込手数料は申込者にてご負担ください。

通信欄